



鶴ヶ島第一小学校  
学校だより

学校教育目標

かしこく なかよく たくましく



# ゆずりは

7月号 NO5

令和6年7月19日



好きこそものの上手なれ！

校長 吉澤 充

来週24日（水）から7人制ラグビーやサッカーの競技を皮切りにフランスで「パリ2024オリンピック・パラリンピック（表記「パリ五輪）」が開催されます。パリ五輪には、日本代表として560名を超える選手が参加する予定になっています。今回の日本選手団は、開催国であった東京五輪を除いて過去最多になる見込みです。近年、新たな競技や種目が追加されていることも参加する人数が増えていることに影響しているのかもしれませんが、それでも、その新たな競技や種目に参加できるだけの成績を残している日本選手がいるということも素晴らしい事実だと思います。

パリ五輪を含め近年の国際大会に日本代表の選手として参加する（参加した）選手へのインタビューや記者会見の様子等から考えていることを述べさせていただきます。



1つ目は、笑顔で楽しみながら、その種目等に取り組んでいることです。

競技や種目の新旧の関わらず、その分野で活躍している日本選手は、比較的幼い頃からそのスポーツが好きで、楽しみながら練習してきた結果オリンピックへ参加できるようになったという話をされていることが多いように思います。本校の児童にも、

“好きこそものの上手なれ”の精神で、運動だけではなく何か夢中になることを見つけて、進んで学習できるようになってほしいと思っています。



2つ目は、自分の目標をもっていて、その目標を公言できることです。

記者から目標を聞かれても「金メダルです。」「自己ベストを出して、入賞します。」等自分の目標をはっきりと言うことができる選手が多いです。日本を代表するような選手は、常に自分で目標を決め、その目標を達成するために課題を分析し、その克服・改善を図るために日々努力をしています。改めて“目標をもつ”ことの大切さを認識しました。本校の児童にも『夢や目標をもって生活をしましょう。』と伝えていきます。

3つ目は、自分考えを伝えられること、周囲への感謝を忘れないことです。

様々な質問に対して、しっかりと自分の考えを説明（回答）できる選手が多いです。理由は分かりませんが、選手自身が自分のことを俯瞰的に考えることが多くなり、言語能力や思考力が高まったからではないかと考えています。もう一つ五輪で目標や夢が叶った時

に自分の努力を自慢する選手が誰もいないことです。むしろ周囲の方への感謝を口にする選手が多く見られます。本校の児童にも、感謝の言葉が言えるようになってほしいです。

物や情報にあふれている現代社会において、誘惑や怠けの心に負けることなく自分を律して生活することは、とても容易なことではありません。それでも「好きなこと」があれば、これらの誘惑に脇目もふらず、夢や目標に向かって、楽しみながら努力し続けることができると思っています。さらに、周囲への感謝を忘れない豊かな心が身につけば、その「好きなこと」に夢中になっている人は、の立派な日本代表だと思います。この夏休みにお子様の「好きなこと」日本代表を目指してみてください。

パリ五輪に関係する本校の卒業生

○三輪颯太選手…パリ五輪への出場国16枠を決定する「世界リレー2024」で『男子4×100mリレー』の日本代表選手として、出場しました。その大会ではアンカーを務め、1位でゴールしました。その結果、日本代表が本体大会の出場を決めましたが、残念ながらパリ五輪の選手には、選ばれませんでした。

○山崎晃裕選手…パリパラリンピック:やり投げ選手

東京五輪に続き2大会連続の出場となりました。6月の日本選手権では優勝し、2連覇を達成しました。また昨年の12月には、第一地区青少年健全育成推進協議会主催の子育て講演会で、「信じる力」についてご講話いただきました。本校の6年生が応援メッセージを書いてプレゼントしました。

## SNS 安全利用に関する講習会の実施

6月22日(土)に4年生から6年生までの児童が、体育館でSNSの安全な利用に関する講習会を実施しました。講師に埼玉県ネットアドバイザーの方を招聘して実施しました。SNSの正しい利用について講演をいただきました。



## 6年生の修学旅行

6月26日(水)から27日(木)にかけて日光方面に修学旅行へ行きました。当日は、天候に恵まれ、標高が高いこともあって涼しい風を感じながら2日間の行程を予定通りに行えました。

ルールやマナーを守ってしっかりと学習することができました。



## 脚折雨乞い《8月4日(日)》

江戸時代から続く降雨祈願の伝統行事で、4年に1度行われます。雨を呼ぶために全長36m、重量3tの巨大な龍蛇(りゅうだ)を製作して、白髭神社から雷電池(かんだちいけ)までおよそ300人の人が担いで、練り歩きます。その後、雷電池に入水し、龍蛇を解体します。お祭りは、ここまでですが、解体する意味は、池を汚すことによって神様が怒って雨を降らせるといふことだそうです。かつて日本における雨乞いは多種多様で約50の類型があったそうです。埼玉県に残る雨乞いは、「脚折雨乞いのみ」です。

なつやす けんこう あんぜん いちばん だいじ  
夏休みは もちろん みんなの健康・安全が一番大事

なつやす ちゅう こうつう じ こ とく と だ かわ うみ みず じ こ ねっちゅうしやう かんせんしやう…など  
夏休み中も《交通事故(特に飛び出し)・(川や海での)水の事故・熱中症・感染症…等》に  
きをつけて、げんき がつ にち すい あ  
気をつけて、元気に8月28日(水)に会いましょう。